

住吉中学校2年生を対象に、六甲山地で過去に発生した土砂災害と砂防事業の取組みについて知ってもらうために、「六甲山地の土砂災害と対策」という内容で出前講座を行いました。

## 概要

日時：平成26年11月18日（火）13:25～15:15

場所：神戸市立住吉中学校（神戸市東灘区）

主催：神戸市立住吉中学校

参加人数：2年生 5クラス



六甲山地の地質を代表する花こう岩は、風化するともろくなり、大雨や地震の際に崩れて下流に被害を与えることがあります。住吉川流域は、昭和13年阪神大水害、昭和42年7月豪雨、平成7年阪神・淡路大震災で崩れた土砂による被害が発生しています。

土砂災害には、大きく分けると「土石流、がけ崩れ、地すべり」と3つの形態がありますが、今回は特に過去に大きな被害があった土石流の特徴と、その前兆現象（前ぶれ）について解説し、被害にあわないために、前兆現象を確認した時どうすれば良いかを説明しました。

土砂災害の被害にあわないためには、日頃から自分の生活している地域が土砂災害警戒区域等に指定されていないか確認しておくことと、雨が降り始めたら気象情報に注意し、土砂災害警戒情報や、市から避難に関する情報が発表された場合に、早めの避難をすることが重要です。今回の出前講座をきっかけとして、防災に対する意識が高まることを期待します。



### 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

